

平成23年3月23日

副会長・理事様
事務局長・事務長様

全日本中学校長会
会長 新藤 久典

東北地方太平洋沖地震による災害へのお見舞い等について

この度の東北地方太平洋沖地震により、2万人以上の人々が亡くなられたり行方不明になられたりしております。また、多くの家屋等が損壊するなど20万人以上の人々が避難を余儀なくされています。

亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。また、被災者を受け入れておられる学校をはじめとする関係者に、敬意を表するとともに心から感謝申し上げます。

さて、本会の当面の対応を下記のようにさせていただくことになりました。

副会長・理事様におかれましては、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 全日中としての対応

- (1) 専門委員会として対策委員会を立ち上げ、復興支援の対応に当たる。
- (2) 被害甚大な県の中学校長会に見舞金を拠出する。
- (3) 各都道府県中学校長会に見舞金・義援金等の拠出を要請する。

※見舞金・義援金の拠出方法、送金先等については各都道府県中学校長会の判断による。

2 各学校としての対応

- (1) 被災者が自校に就学を希望してきた場合には、教育委員会と連携しながら、就学先に指定された中学校は積極的に受け入れるよう努める。
- (2) 生徒会等の主体的な取組等、各学校の実情に合わせて見舞金を募り、日本赤十字社、NHK、民放等に託すなどの対応を行う。
- (3) 教育委員会と連携して、教職員による被災地でのボランティア活動がしやすい条件づくりを行う。

